

トウネズミモチ駆除(伐採)のおすすめ

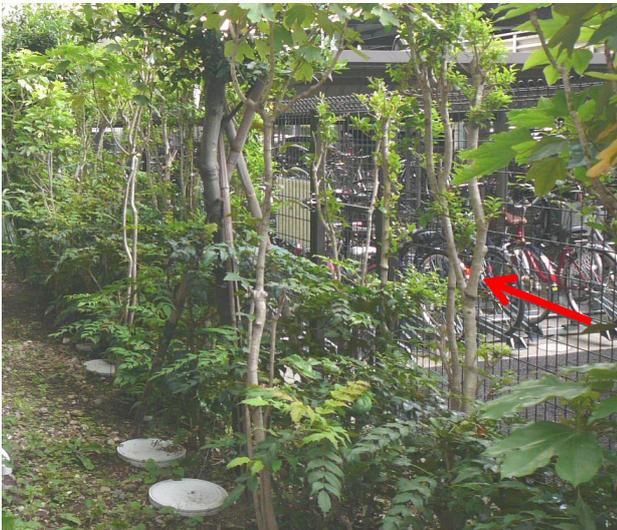
トウネズミモチは、公害に強く生垣等にも、多く利用されきましたが、大量の果実を実らせ、鳥による種子散布で繁殖し生態系に影響を及ぼすため、**外来生物法**で**要注意外来生物**に指定されております。果実が実る前の『**剪定**』や『**駆除**』(実生・稚樹の抜き取り、伐採)をおすすめします。
[庭木図鑑 植木ペディア > トウネズミモチ](#)

当協議会の樹木診断を受けた多数箇所でトウネズミモチが散見され、不要と判断し約40m伐採、剪定費用を削減した例もあります。

駆除(伐採)前



駆除(伐採)後



地域で決まった日に束ねてゴミステーションへ出せば、収集され再資源として活用されます。



← 初夏に枝先に白色の花を多数咲かせます。



← 12月ごろ実ります。



← 光にすかして見ると、側脈がはっきりと透けて見えるのが特徴で、在来種のネズミモチと区別できます。

千葉市 木の枝・刈り草・葉の資源収集について

<http://www.city.chiba.jp/kankyo/junkan/shushugyomu/senteieda-recycle.html>

ご参照: 国立環境研究所 侵入生物データベース 「トウネズミモチ」

<https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/81050.html>